

# 令和5年度 第1回日高町創生総合戦略策定会議議事録

開催日時:令和5年11月15日(水)

13時30分~16時30分

開催場所:門別公民館 講堂

## ◆出席者

出席委員 10名:伊藤委員、上田委員、尾崎委員、加渡委員、福嶋委員、山内委員、石川委員、  
根田委員、オキーフ委員、石原委員

欠席委員 3名:森藤委員、濱田委員、中村委員

事務局 3名:(企画財政課)林谷課長、長谷川主幹、折尾主事

日高町出席者 10名:総務課、子育て健康課、産業課、商工観光課、住民生活課、地域住民課、  
地域経済課、高齢者福祉課、教育委員会管理課、生涯学習課

## 1. 辞令交付

## 2. 会長挨拶

## 3. 議事

(1)第2期日高町創成総合戦略に定めるKPI目標の改定について

(2)第2期日高町創成総合戦略の実績報告(資料2)

**<基本目標1:まちの強みを雇用の場づくりにつなげる>について**

### ○新規就農促進対策事業について

【委員】 新規就農も今後期待が持てる状況となっているとあるが、地域農業支援員の現状、何人くらい農業に従事しているのか。

【担当課】 令和5年度も既に一人が地域おこし協力隊を卒業されて、新規就農している。その方の他に2名の方が来年卒業予定で新規就農に繋がっていけば。

### ○漁業資源増殖事業について

【委員】 回帰率はどのくらいで見ているのか。

【担当課】 回帰率としては見ていない。この事業で資源回復を目標として 50 トンまでという計画で行っている。計画はその計画で立てているが、それよりも今のところは多く放流できている。

ししゃもの性質として海水温が影響し回帰量というよりも、全滅とまではいわずともという部分があるとは聞いている。今年も 8 月末までで 0.5 トンの漁獲高があり、その後近隣の漁業組合と協議して休漁を決めているところ。

今後どれだけまた資源が回復していくかっていうのを、自然任せになってしまうのだが、こちらとしては期待しているところ。

【委員】 むかわ町も日高町もししゃもはまったく獲れないという状況で、広尾のししゃもが出回っている。広尾は獲れているようだが、広尾のししゃもは日高管内の店でも取り扱っているのか。

【担当課】 ちゃんとした調査ということではないが、確かに道東の方が獲れているということで聞いている。むかわ町で行われたししゃも祭りなんかも、道東の方から仕入れたししゃもを使って、ただ加工はむかわ町で行っているよう。ししゃもという名前をなくさないようにということで実行していると報道等で確認はしている。

獲れない原因も海水温ではないかと、まだ調査中。元々ししゃもは暑さに弱い魚で 4 年周期 5 年周期と、これまでも獲れたり獲れなかったりを繰り返してきている。全世界的に気温が今後は下がる可能性があるのかっていうところも含めて、なかなか予測は難しいと考えている。

ただ、資源回復に向けて、今年は休漁を決めたということですので、回復が 2 年後になるのか、3 年後になるのか、4 年後になるのかというのは自然相手なのでわからないが期待していくしかない。目標についてはししゃも稚魚放流事業に対して、町として助成をしているので 20 トンを目標として掲げていきたい。

【委員】 産地さえきちんと表示してやれば、むかわ町の様にイベントの組み方はできると思う。結果的にししゃもの漁獲を待っている間はやらないというのは観光資源の問題もあると思うがどうなのか。

その辺を観光課といろいろ調整しながらイベントは、コロナも明けて、むかわ町もそういう体制をとりながら行っているところ、日高町は指くわえて見ているのかと。

これからの将来的な展望の中で、いろいろ考えてもらえれば良いのかなと思う。イベントは時間をあけていくと、なかなか回復するのに時間がかかるので、できれば短時間の中でいろいろ対応しながら、ししゃも祭りと言わないでも産地をきちんと表示してやれば別に問題はないのかな。加工もできないわけでもないし、もう少し工夫をしながら、外からの観光客をひきつける、集客するということが今後考えていかないと。

【担当課】 1点だけ訂正をさせていただければ、むかわ町で今回行われたお祭りは、ししゃも祭りという名目ではなく、ししゃも祭りは2年前に既にやらないと公表しているの、いわゆる特産市は特産品のイベントということで行ったと聞いている。今年ししゃも祭りを日高町が中止するにあたり実行委員会の中で数回話し合いを設けさせていただいたが、委員からもししゃもが今年のように休漁するという風になると、イベントの開催意義が合わなくなってきてしまうので、ししゃもに拘らないでというご意見をいただいていた。

すぐに新たなイベントということは難しいところがあるので、ししゃも祭りは来年度以降についても開催について協議をさせていただくことと並行して、新たな収穫や漁獲に左右されないイベントについても今後協議をさせていただく。

既に民間の商工青年部の方が中心となって、実行委員会を開催し夏祭りと呼んでイベントをやっている現状もあるので、できればそういう方たちのイベントに支援をさせていただくような流れがあれば、町が中心となるよりも盛り上がり、参加者も増えるのではと期待しているところもあるので、来年度以降もイベントについては検討していきたい。

#### ○森林整備推進事業について

【委員】 面積にしたらどのくらいあるのか、また町で助成しているという話だが、国にもあったような気がする。その辺のバランスを教えていただければ。

【担当課】 面積については令和4年度保育間伐 77.85ha、枝打ち 19.57ha、間伐 6.72ha の合計 104.14ha 令和5年度は現在も事業実施中で申請済みの部分が人工造林 23.39ha、その他についてはこれから手続きを行う。

ご指摘のとおり、国の補助、町の補助それぞれありまして、町が持つ部分について森林環境譲与税というものが始まり、要項を改訂し町の方で補助をしている推進整備事業ということになる。今年から森林関与譲与税の有効活用ということもあり、整備されていない森林の調査と所有者の今後の意向調査等々を今後数年かけて行っていく予定で、整備を希望される方については、推進事業の補助金などを使いながら、ゼロカーボンに向けて大きく貢献できるということで、事業の展開を図っていこうとしている状況。

【委員】 どのような内容で、どのくらいの費用がかかっているのか。

【担当課】 費用面でいうと、今年実績が上がってきたが総事業費で800万、それに対しての補助が100万円程度。内容については毎年ちよつとずつ変わり、例えば事業も様々あり、海拔造林、植林、保育等それぞれに全部補助金がある。ただ、新たに森林を整備すればその分、co2吸収率の向上に寄与していくのでそこを推進していくための補助。所有者の意向も必用なので、その確認をするべく事業を進めている。

○日高町地場産品推奨品認定事業について

【委員】 日高町の地場産品は具体的にどういものがあるのか

【担当課】 今年新たに承認された産品でいくと、町内の日高地区の方が生産されているものをその方が商品化したアロニアのセミドライであったり、商工会青年部さんが開発されたタコロッケ、材料にあるタコは日高町で獲れたタコに、びらとり農協富川支店の方が生産されたジャガイモを使用しているような、町内で生産されたものを日高町の推奨品としている制度。

○地場産品推奨品などを活用した特産品開発・販路開拓事業について

【委員】 推奨品でやったものも関連してくるけど、もっとあったような気がする

【担当課】 目標の仕方が単年で、その年度内で開発したという評価になる。令和4年度の開発が4品目と捉えていただければ。

【会長】 令和3年度というのはコロナの関係もあって商品開発もできなかったということ。

【担当課】 そうですね。取り組む方っていうのがやはり重要で3年度から取り組んでいて、たまたま4年度で商品化したというところもありますし、コロナの中で活動がどうしてもできない部分があったりするんで、3年度の0というのは影響があった。

【会長】 日高町の観光まちづくり協会の方でも先だって会議をやったが、もっと活性化して、こちらの方にも少し力を入れて、頑張っていきたいとは思っている。

○ホッカイドウ競馬売上増進対策事業について

【会長】 売上げ的にはどうだったのか。

【担当課】 資料がないので細かい数字はお伝えできないが、今年は82日間、前年より3日短い期間だったが500億は超えている。ただ3日短いので売上げは前年度より少し落ちてはいるものの、82日間の平均でいくとこれまでの記録を更新しているという報告は受けている。また今年については集客も前年度を超えているという風に聞いている。コロナ5類移行に伴って直接競馬場を訪れてくれる方が多くなっているという風には報告を受けている。

【会長】 普段から思っているが来客者数、どういうふうの魅力をつけてどうやって観客を呼ぶか。売上げに関してもネット売上げが9割。競馬場の魅力を伝えて競馬場に少しでも足を運んでもらうこ

とが売上げの利幅も多くなる。中央や JRA、北海道の軽種馬振興公社との絡みもあるから、大変なのかなとも思うけど、他の地方競馬でやってないここ独自でやっていること、例えば冠レース、道営記念みたいな、経費もかかると思うが、魅力のあるレース、そういうのを1本どんと作るというわけにはいかないのか。

【担当課】 町の経費で協賛レースは年2回ほど行っている。大きなレースというのは何が魅力かという、実際、馬主、事業者にとっては賞金が大きくなるのが活性化に繋がる。そちらの方は、公社が毎年毎年取り組んでくれているので、出走する馬の数は間違いなく毎年多くなってきている。1レースに8頭、9頭ではなくて、枠が2頭だったりするのも多くなってきている。3年くらい前までは1レースにどうしても8頭揃わないこともあったが、今年はほぼないような状況で進んだという風に聞いているので、公社の方の努力が実を結んでいる。

そこに、町がどのように協力できるかという、今会長が言われたような大きな協賛レースを組むというのも1つの案だと思っているので、来場者に対して喜んでいただけるような事業を、数多く増やす方がいいのか、まとめて少し予算をかけて大きなレースを組んだらいいのかは考えていく。

【会長】 来年度あたりからは他の地方競馬でナイター設備をもつところも出てくるといった話も聞いているので、門別競馬場のPRはもっと真剣に考えていかなければ。

【委員】 今厩舎を移設することになって、その利用価値をどうするのかというような問題もあると思う。せつくなので、観光資源的なもの、公園化するとか、ファミリーでやってもらえとか、そういう風な形に変えていくか、エスコンタイプのような1つの何かを事業に取り組んで姿を変えながら集客をしていくというようなことも大事。馬に関しては購買意欲も高く今のところ何年かは大丈夫かなという風に言うけど、景気の問題なので、景気が落ちると今の購買も落ちる。その時にどう踏ん張れるかという問題もあると思うので時間をかけながらやってもらえると嬉しい。

【担当課】 公社の代表、理事長であります町長からも、そのように聞いている。今回、シーズンが終わって直ちに工事が始まると聞いているが、初年度は厩舎から始まり居住の方は最後、その居住の方の整理が終わったら、いろんな活動をできそうな場所が最後に整理されるかなと思っている。

その中で、ご提案のあった少し遊べるような場所というのも、実際公社の方でも色々な意見をいただいているようで、検討をしているとは聞いている。ただ、公表できるのは少し先になるかと思うし、実現できるかも含めて、時間をいただくことになるが、ご意見をいただいて動いているという風に聞いている。事業期間が長いので、結果としてご覧いただけるのは少し先になると思うが、期待されている方がいるということも併せて報告したいと思う。

○自然を活かした観光事業振興事業について

【委員】 観光ということで、地場産品やししやも関連してくるが、日高町はもちろん馬産地で、有名な馬もたくさん出ている。有名な馬をPRする、パンフレットに少し載ってはいるが。

例えば、新冠でレ・コード館に馬の銅像が並んでいて資料も多くある、日高町も日高産の有名な馬がたくさんいる。とねっこの湯にシンボリルドルフの何かがちよっとあったぐらいで、まだまだ有名な馬がたくさん出ているので、PR施設をつくれば、今競馬ファンも若い人が道営競馬にたくさん来ているが、観光誘致に繋がっていくのでは。

新ひだか町も浦河町も馬産地ですから、向こうもかなりやっていると思う。日高町も負けないように、本当に遅いがPR発信していけば。

【担当課】 ご意見ありがとうございます。今のような内容のご意見については、これまでもいただいていて、優秀な馬を輩出している牧場さんからも、例えばレプリカではあるが飾っていただけるものを貸していただけるとご意見をいただいているので、やってみたいと担当とは話しているが、大切なものなのでセキュリティ等考慮すると、専用の建物を建てるのは急には難しいところがあるので、とねっこの湯等空いている場所を活用し、期間限定でも始められればと。今いただきました意見も踏まえて、実現できるように検討していきたいと思う。

【会長】 日高山脈国立公園化もあるし、それに伴う観光に結びつけたものもあるので、観光まちづくり協会を活発に、ご意見を集約してやっていきたいと思う。

【担当課】 今回この事業でいくと、自然を活かしたというところで、少し観光協会も含めて担当課として、関わりが少なかったというところは反省すべき点。アウトドアをやられている事業者さんも日高地区にはいらっしゃるの、その方たちと何か連携できるような事業をやらなければいけなかった部分については、反省すべき点。そこを繋げていきたいと思っている。

直接担当するのは地域経済課だが、日高山脈の国立公園の国立公園化について、民間の方たちを交えた中で色々なPR活動などを進めていくと、観光まちづくり協会の方で行うような流れになっているので、そこを含めて進めていきたいと思っていますので、ご協力を皆さんからいただければと思っている。

【委員】 この事業内容に関してKPIが設定されていない。達成したかどうかというのを見るのが難しいかとは思いますが、事業が効果的に行われたかどうかというところを最終的にはどのように判断するのか。

意見として、馬の関係、職の関係、それからこの自然を活かしたアクティビティも含めて、観光に関して今かなりの円安で、1ドル 150 円を超えているような状況で、日本人が海外に行くのは庶民の感覚ではかなり難しい時期だと思うが、逆にインバウンドが一気に日本国内に入ってきている。今年の夏の傾向を見ると、インバウンドを対象とし、先取ってやっているところはかなり集客があって、それが遅れているところは、どうしてもコロナ明けになかなか追いついていけないということが目に見えているので、どういう風にインバウンドを日高の方に連れてくるかと

というような対応も少し考えた方がいいのでは。

あと、人を呼ぶとなると大きな建物を建てたり、大きいプロジェクトを考えがちだが、今富裕層はかなりこの寂れたところとか人が行っていないところに行くという傾向もあるので、今ある資源の中で、何かの形で日高の魅力を発信できるかということも含めて、事業の内容に含めていただきたい。

【担当課】 確かにこの創生総合戦略の計画の中にKPIが設定されていないというのは、少ないかと思っている。この計画を策定した時点ではおそらく、自然を活かした観光事業というのは、町が絡んだものが無かったとされていて、事業者側がやっているものはあったかと思うので、そちらの方の関係を拾いきれていない部分があったと思う。

現状、担当している課としては、大小に関わらずそういう事業があるのであれば、件数として数えて報告すべきだと同じく思っているので、事務局と相談の上KPI設定について検討したい。

インバウンドに関するご意見については、私どもも、そういう情報をキャッチする能力が低いというところもあり、目を向けることが少し遅いところが、本当に反省すべき点ではあると思っているので、観光まちづくり協会は民間事業者さんを中心とした活動にしていきたいと設立当初から考えている。会員じゃない方も含めアウトドアを対象としている方からの情報共有を積極的に行っていくということを、今回いただいた意見で強く思ったので、協会の総会なり理事会の中でもテーマとして話していきたい。

【委員】 地元にいればたいした気にならない観光資源は本当にその辺に、ゴロゴロとはいわないけど、探せば探すなりにある。お金をかけなくても、人を呼べる自然は日高地区も門別地区にも探せばあると思う。テレビに観光牧場的なものが出て、見た人が次の日は本当にひどいくらい入ってくるという現象をこの間見た。そういう意味で観光資源は自分たちが判断するのではなく周りの人たち、あるいはインバウンド、外国人が来たときにこういう田舎が好きという人が本当にいるということは事実。その発信をしないと、どこにいったらいいかわからないというのが1番努力しなければいけない部分だと思う。発信すれば必ず見ている人がいて、そこで誰かが来てくれれば、そこからリピーターになり、また情報発信してくれる人もいる。

門別の奥の方でも観光地というか、あまり知られていないようなところも結構ある、そういうものをピックアップしながら、観光コースに組み入れてなんかするとか。工夫をすることは努力しなければなかなか誰の目にもつかないから、地元民では大して感じないけど案外島からきたら、いいね面白いねとか言ってくれる。動物植物いろいろあり、馬もいれば牛もいる、そのようなあらゆる資源は結構あるので、その辺をどういう風に取り組んで、人を呼べるのかをお互い考えながらやっていく必要がある。

宿泊施設についても、ずっと日高町の課題だけど、それもレーラーハウス等いろいろ少ない金でやれる、場所さえ選べばやれるっていう方法もあったりして、とにかく人を呼べて1泊でも2泊でもしてもらおう。無理かもしれないが、やってみる価値はある。

【会長】 素朴な自然を楽しんできた人が泊まる場所1つない。大きな建物を建てるのではなくて、今言われたようなことも知恵をだしあえば温泉なんかも含め施設も利用しながら、どうやって楽しんでいける、そういうようなものを考えて行かなければいけないと思う。

#### ○広域交流活性化事業(鶴川・沙流川 WAKUWAKU 協議会)について

【担当課】 事業評価に書いているとおり、今現在は活動中止、令和6年度の再開に向けて進めている。予算組みをする段階までにどのような内容では決める予定ではあるが、事業費として大きなものはできないと思う。少しずつでも広域確保の利点が得られるような事業内容にしたい。

当町は宿泊施設が少ないところがあって、隣町の平取町さんの宿泊施設を活用しながら事業を展開することで色々なツアーなり事業が進められるかと思っているので、こちらの広域観光、団体組織については継続して行っていきたい。

#### ○企業振興促進条例に基づく企業誘致事業・農業法人設立促進事業について

【委員】 農業法人はもうすこしあると思うが、新規就農の農業法人とみているのか。既存の農家でも法人組んでやっていくというところもある。この辺の差別化はどうなっているか。

【担当課】 この事業について、元々は企業誘致。農業法人の関係も真似て作った部分で、該当しているのは令和3年に設立されたキャトルセンターのみが対象。事業内容としては、新規雇用した場合に1人いくらという補助金を出し、施設整備についてはランニングの部分で固定資産税の免除を行っている。この制度が作られてからはこの1法人のみ。

#### <基本目標2:海があり山を抱くまちで、子どもを産み・育てたいひとを増やす>について

#### ○妊婦訪問について

【委員】 外国人妊婦について記載があるが、労働者は増えていることはニュース等でも確認をしているが、考えたことなかったが妊婦も増えているのか。令和4年度で人数または割合としてどのくらいの人数がいるのか、出産後にどのように外国人の妊婦さんにサポートをしているのか。

【担当課】 令和4年度の外国人妊婦さんは把握できていないが、今年度については、今の時点で妊娠届の件数が30件ちょっと、そのうち5件が外国人。出産後の支援については、他の日本人の妊婦さんと変わらず赤ちゃんが生まれたら、保健師が訪問して、赤ちゃんの成長を確認したいお母さんの体を確認。心配事や不安などがいないかという確認をしているが、日本語が通じない方が多いので通訳さんに訪問の際に同伴していただき、通訳してもらいながら支援をしている。



## ○医療費助成事業について

【委員】 医療費及び給食費について、日高町は子どもにとってお金かからないところ。学費とか。実際それを子どもたちは知らないし、親も知らない。この町から出て初めて気づくことが多いので、きちんとアピールしていけば、1回子どもたちが外にでて、また戻ってきたい町、お金かからないで子育てしやすい町という風になると思う。経済だけでなくそういうところもあざとくアピールするのが大事だと感じている。

【担当課】 子育て世帯への支援という部分では、町なりに頑張っているとは思いますが、無償化だけ比較すると他町でもやっているところも多くある。比較されると、もっと進んでいる町もあり、進んでいるところを対象に皆さん考えられるので、あそこの町はやっているのになという意見が多く聞かれるかなという感覚がある。ただ、子どもたちはやっぱり、うちの町の給食の無償化が特別なことと言ってしまう言い過ぎかもしれないが、わからない子も多いと思うので、その辺は校長先生と相談しながら、子どもたちにどういう風にアピールというか認識してもらおうかという部分は、相談していきたい。

## ○日高町学校施設長寿命化計画の実施について

【委員】 事業の展望の中で、町内で小中学校の再編を検討するということだが、現段階で教育委員会として構想てきなものがあるのか。また、改修改装等は、この再編以降に行うのか、若しくは再編とは別に年次的に行われるのか。

【担当課】 現段階の構想として、門別地区については、門別小学校中学校の改築が一旦白紙になったので、現時点では門別中学校と厚賀中学校の統合を令和7年4月に向けて打ち出している。子ども数の減少が著しいので、富川中学校との統合も検討していくような方針になっており、現在該当地域の厚賀地区を中心に PTA 役員の方に説明を行い、来週保護者の方に説明会をする予定。日高地区については門別地区との統合は距離的に不可能のため、日高小学校中学校の小中一貫教育を念頭に今後検討していく。

改修については、門別小学校中学校の改築が必要だと昨年お話しているが、厚賀中学校との統合が先行する形になったため、門別中学校の校舎については当面使用。門別小学校については地震のダメージがあり、高台移転ができる用地の確保を進めていこうというような段階。

その他の学校については暖房器具が壊れた等、重要度を見ながら再編とは別に施設の改修を行っていく方針。

【委員】 質問ではないが、学校教育に関わっているので補足で説明させていただければ。全国学力学習状況調査と、標準学力検査の実施というところで KPI 目標をやっているところだが、令和5年度からこの全国学力学習状況調査の問題の作り方、狙い、質問の仕方の部分の5割の部分を高校入試も同じ作り方をしていく。さらに高校でも北海道の場合は高校1年生の終わりに、学力

学習等実態調査というものがあり、その問題の作り方、質問の仕方に関しても5割は関連性の強いもの、同じものを聞くようになっている。

今年度から小学校、中学校、高校と学習状況がしっかりと把握できるようになっているので、KPI 設定している数字は、到達した若しくは全国平均を超えたというのは大事だが、小学校から子どもたちがどのような形で学力がどう伸びていっているかを示すいい指標になるかと思うので、そういう視点でとらえていただければ。

【担当課】 この KPI については、目標を達成したかしなかったかと、単純な表記になっているので、長期的な視点で、伸びた落ちたというところを、シート内で表現できるか企画財政課担当と検討していく。

### ＜基本目標 3:このまちに誇りをもってアクティブに住み続けたいと思える生活を支える＞について

#### ○日高町産業学習事業について

【委員】 過去に札幌での移動説明会も行っていたと思うが、もうやめたのか、それとも再開するのか。また、札幌近辺の中学校に学校訪問して PR してきていたが、今も行っているのか、まるきりインターネットの方に活動が移ったのか。

【担当課】 札幌近郊及び道内の説明会に関しては、現状保護者及び該当の生徒に来ていただき説明をしており、出張はしていない。今後説明で来られる方等が増えていけば、再開するか検討。

#### ○介護予防・生活支援事業全般について

【委員】 要支援1や2の認定を受けた方が回復しているケースがあるのか。また、その現在受けている方が緩やかに現状維持ができるというのを、統計的に体感的に維持できるんだというのがあるかどうかを参考までに聞きたい。

【担当課】 その方の症状や疾患によってまちまちだが、一時的な整形外科的な病気の方たちは、デイサービスなど利用して、改善指定されている方が何人かいる。今 160 人ほどいる要支援者の中で介護サービスを使っているが、ひとにぎりにはなる。

デイサービスを利用することで、要支援者の方の心身の改善が見込める。現在、運動特化型のデイサービス、ワイズパークという事務所が富川にあるが、そちらに通われている方はほとんどの方が、利用時より心身機能の向上が確認されている。

#### (3) デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定について

現在の第 2 期日高町創生総合戦略は令和 3 年度に作成したもので、現在 DX ということで

デジタルかが推進されており、町としてもデジタルを活用した事業に着手していくにあたり新年度の予算に向けて準備をしているところ。

新たにデジタルに関する部分を取り込む場合は、資料記載のとおり、デジタル田園都市国家構想総合戦略というものを策定しないといけないということになっており、現在の総合戦略にはデジタル関連の部分が一切入っていない。新たに町としてデジタルに関する部分の事業を実施する場合はデジタル追記して改訂が必要と国から指導を受けている。

来年度以降デジタルに対して追記明記したものを作成し、協議会の委員の皆様にお諮りし、デジタル田園都市国家構想総合戦略というものを策定し、国に承認してもらう予定。

#### 4. 閉会